秦野市 ハザードマップ
ー 南地区 ー

風水害時の避難場所

○自宅の災害リスク

自宅が警戒区域や浸水想定区域（○m）に入っているかをチェックしておきましょう。

○私の避難場所

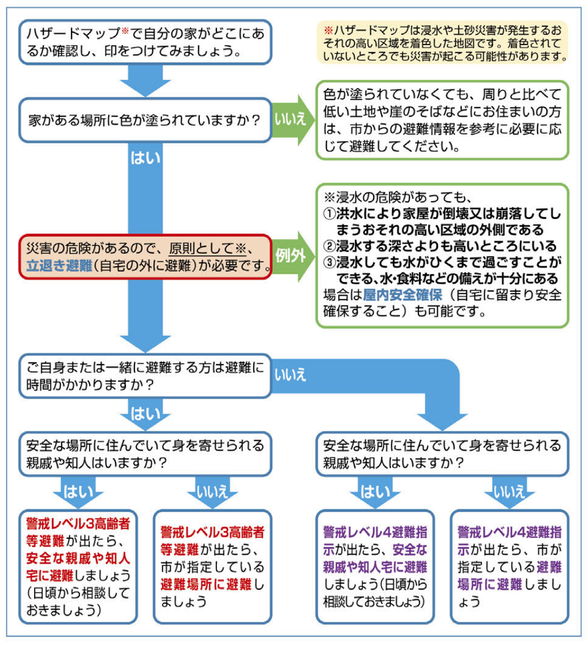
風水害時の避難所は公民館及び広畑ふれあいプラザです。

○避難方法・自宅からの時間

状況に応じた避難行動

避難行動判定フローチャート

このフローチャートは、はい・いいえで自分がとるべき避難行動を確認することができます。ハザードマップで自宅の災害リスクを確認するとともに、「自らの命は自らが守る」意識を持って、自分のとるべき行動も平時から確認しておきましょう。



総合防災情報システム

リアルタイムな防災情報で自分と家族の命を守る

避難所情報

避難所の開設状況や避難者数などをマップに4段階で分かりやすく表示します。

災害状況

火災や土砂崩れなどの被害情報をリアルタイムでマップに表示します。

避難情報

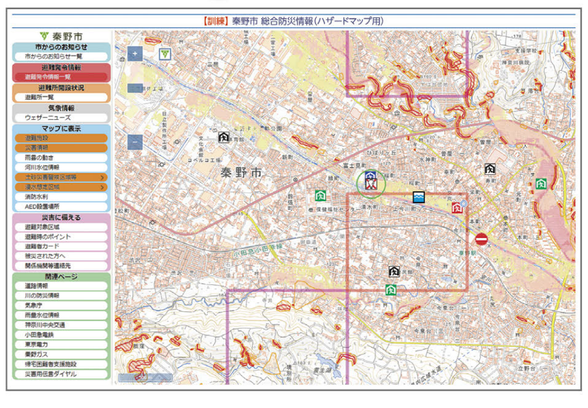
避難指示等の避難情報が発令された地域と内容を網掛けでマップに表示します。

平時の備え

ハザードマップや気象情報など平時から役立つ防災情報を表示します。二次元コードを読み取るか「秦野市総合防災情報」で検索、または市ホームページや公式LINEからでも利用できます。

秦野市総合防災情報二次元コード

秦野市総合防災情報 検索



ハザードマップの使い方

1. マップから自宅を見つける
2. 避難する場所を確認する
3. 安全な避難経路を決める
4. 実際に避難経路を歩いてみる

5. 家族で災害時の対応を話し合う

6. 学校やご近所で考える

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋倒壊等氾濫想定区域とは？

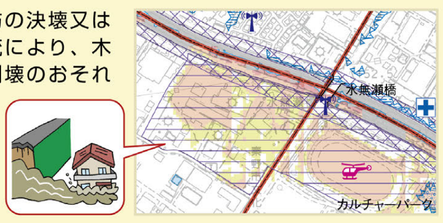
洪水時に家屋が流出・倒壊する等の可能性が高い範囲を示すものです。

この区域では、屋内安全確保（垂直避難）ではなく、風水害時避難所等への早期立ち退き避難（水平避難）の必要性を判断することが求められます。

「家屋倒壊等氾濫想定区域」は
氾濫流によるものと、**河岸侵食**によるものの2種類があります。

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域



家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）

洪水時の河岸侵食により、家屋倒壊のおそれがある区域

警戒レベル

警戒レベル4避難指示で、危険な場所から全員避難してください。

警戒レベル	状況	避難行動等	気象情報等（気象庁が発表）	避難情報等（秦野市が発令）
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	大雨特別警報	緊急安全確保
〈警戒レベル4までに必ず避難！〉				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	土砂災害警戒情報	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	

※避難情報は必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。
また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**垂直避難や水平避難**などで直ちに身の安全を確保してください。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

※最新の情報は内閣府ホームページをご覧ください。
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/（内閣府 HP）

土砂災害から身を守る

土砂災害防止法について

神奈川県は、がけ崩れなどの土砂災害から県民の生命を守るため、土砂災害防止法にもとづき、土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域を指定しています。

秦野市に影響のある「土砂災害警戒区域」は416区域、「土砂災害特別警戒区域」は349区域です。（令和6年3月12日　神奈川県指定）

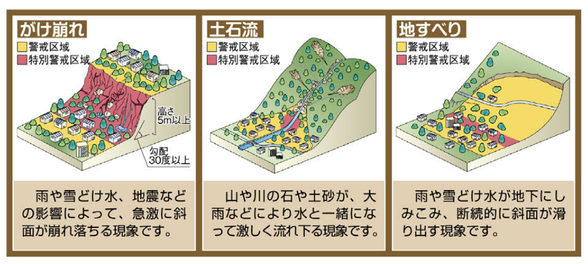
◆ 土砂災害警戒区域

がけ崩れ等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

◆ 土砂災害特別警戒区域

がけ崩れ等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害の種類



がけ崩れ：雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象です。

土石流：山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒になって激しく流れ下る現象です。

地すべり：雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象です。

状況に応じた避難行動

● 水平避難

避難指示や災害の前兆現象があった場合は早めに行動し、避難場所や土砂災害警戒区域外の親戚の家など、安全な場所へ避難してください。

● 垂直避難

避難場所への退避が困難な場合は、近くの堅牢な建物の2階以上へ避難してください。

夜間や屋外への避難が危険な場合は、屋内のがけから離れた2階の部屋などに退避してください。

洪水被害から身を守る

想定される洪水

近年、台風や集中豪雨による洪水や、がけ崩れなどの被害が全国各地で発生しています。市街化の進行により、雨水を貯えていた田畑や森林が大幅に減少し、道路の舗装や排水路整備が進み、雨水が一気に河川に流れ込む傾向にあります。また、急に雨雲が発生するゲリラ豪雨が近年頻繁に起こっています。

● 外水氾濫

河川から水があふれておきる洪水

大雨などにより川の水が増えて水かさが上がり、堤防に圧力がかかります。

堤防いっぱいに水が増えると、やがて堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊して勢いよく水が街に襲いかかります。

● 内水氾濫

排水路などから水があふれる浸水

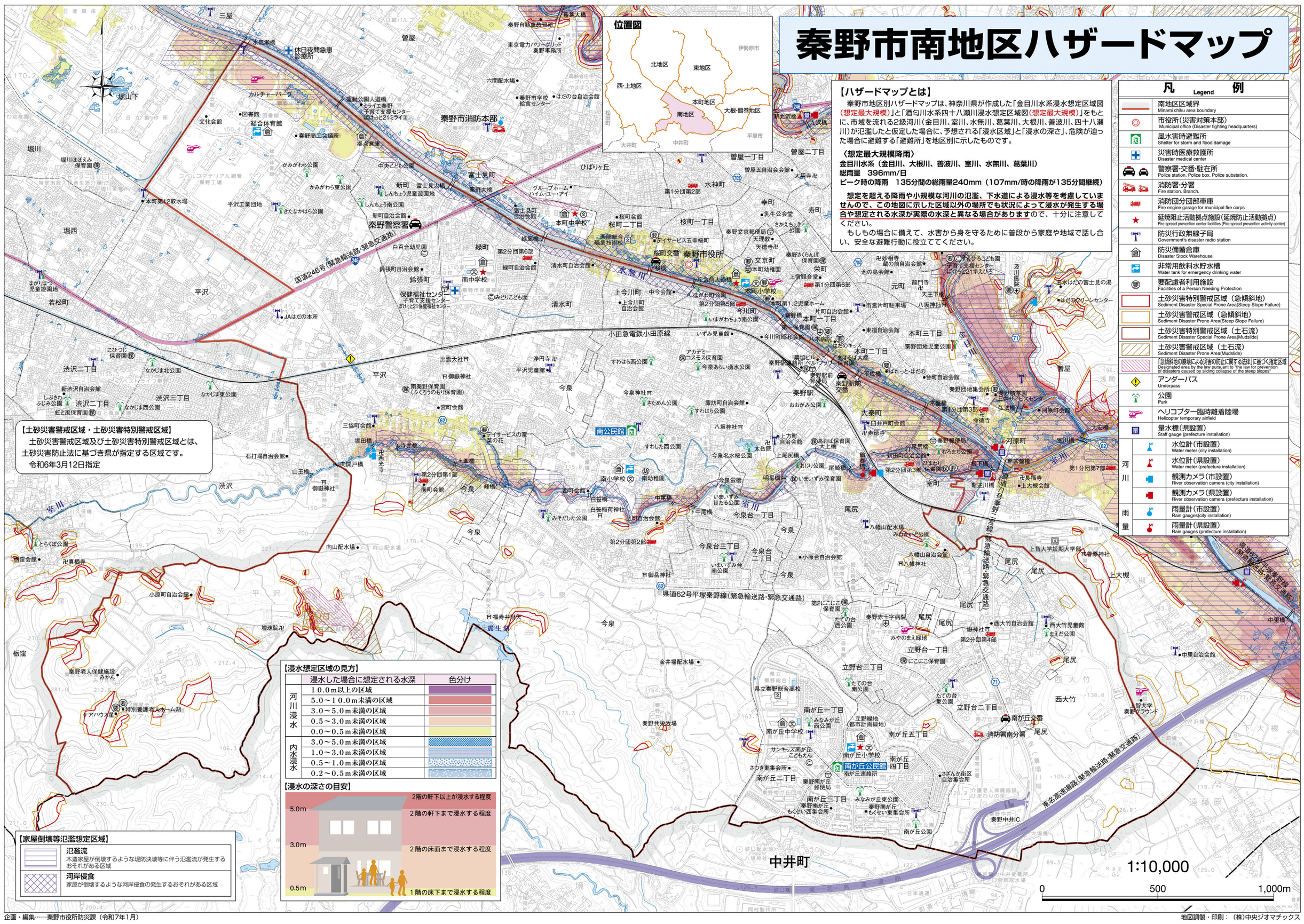
通常、街に降った雨は道路側溝や水路などにより川に排水されます。しかし、大雨により、排水先河川の水位が上がると排水されにくくなったり、浸水することもあります。

雨の降り方と注意報・警報の関係（目安）

発表目安	大雨注意報	大雨警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報	記録的短時間大雨情報	
1時間雨量(mm) 予報用語	10～20mm やや強い雨	20～30mm 強い雨	30～50mm 激しい雨	50～80mm 非常に激しい雨	80mm以上 猛烈な雨	
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる	
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘はまったく役に立たなくなる		
屋内（木造住宅を想定）	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険		

気象庁は、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけます。これに加え、警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

秦野市南地区ハザードマップ



企画・編集……秦野市役所防災課（令和7年1月）
地図調製・印刷：（株）中央ジオマチックス